

平成 18 年度総会・研修会を開催

——「技術士動向」「防災・減災技術」「技術者倫理」について研鑽——

はじめに

道北技術士協議会では、去る 4 月 15 日に旭川市で定例の「総会・研修会」を開きました。会員の要望により、今年度からは 4 月開催となりました。

当日は、技術士センターから森事務局次長をお迎えし、市外からの参加者も加わって総勢 30 名の出席となりました。今回は、その概要を報告致します。

日時 2006 年 4 月 15 日(土) 14:00～19:00

場所 旭川ターミナルホテル（旭川駅直結）

参加 30 名（道北会員 27 名）

1. 定時総会

総会では、次の議案について審議し全会一致で承認されました。

- (1) 第 1 号議案 平成 17 年度事業報告および決算
- (2) 第 2 号議案 平成 18 年度事業計画および予算

特に 18 年度の事業計画では、「技術士ビジョン 21—行動指針（H 17.5）」を念頭に社会に対する信頼関係を向上させるべく CPD 活動を一層充実して資質向上の責務に努めるものとなりました。



定時総会

2. 研修会

研修は“安全、環境、品質保証”を基本テーマとしつつも最近の偽装事件等を背景とした CSR への社会的要請を受け、技術者倫理を含む 3 演題について 3 時間の研修を行いました。会場では、講師陣の広範な知識と経験からにじみ出る説得力のある言葉に熱心にメモをとる会員の姿が見られました。貴重な講演内容に拍手喝采の研修会となりました。

演題 1：「技術士を巡る最近の動向」

講師：北海道技術士センター

事務局次長 森 隆広 氏（建設／総合監理）

概要：

- (1) 平成 17 年度技術士試験結果について
- (2) 技術士第二次試験方法の改正について
- (3) 技術士 CPD 認定会員制度の概要
- (4) ㈶日本技術士会と技術士の目指す形
- (5) 支部・センターの改革に向けて
- (6) 書籍紹介（日本技術士会発行・CPD 教材）



技術士センター事務局次長 森隆広氏の講演

演題2：「地域防災力を高める減災と技術」

講師：(社)日本技術士会防災特別委員会委員

工学博士 松井 義孝 氏（建設）

概要：

- (1) 災害から学ぶ (2) 迫りくる地震と活断層
- (3) 減災について (4) 地域防災力
- (5) 地域社会と企業 (6) 災害情報と伝達
- (7) 雪害と地震 (8) 減災と技術の技
- (9) 減災に関する技術と技術者の責務
- (10) 想定外の災害のために！



日本技術士会防災特別委員会委員 松井義孝氏の講演

演題3：「技術者倫理について」

講師：旭川工業高等専門学校電気情報工学科

教授 土田 義之 氏（情報工学／総合監理）

概要：

- (1) 自己紹介
- (2) 1970年以降現在までの技術のトラブルについて
- (3) トラブルから見える各年代の技術者倫理
- (4) 最近の情報化時代における気になる技術者倫理
- (5) 総合監理の技術体系からみるトラブル
- (6) 人的資源管理からの技術者倫理の実態
- (7) 技術者倫理から求められる技術者の役割
- (8) 北海道の技術と技術士の役割
- (9) 21世紀の技術予測
- (10) 旭川高専の産学連携と技術者倫理について



旭川高専電気情報工学科教授 土田義之氏の講演

3. 意見交換会

内容の濃い長時間の研修を終えた開放感も手伝って、意見交換会は大変な盛り上がりとなりました。研修の内容等を話題に例年以上の時間延長となり、遠路稚内市や圏外滝川市から参加された新しい仲間の自己紹介には喝采がわきあがるなど和やかな雰囲気の中で盛会裏に終わりました。



意見交換会

おわりに

研修会を大いに盛り上げて下さいました講師の諸先生並びにご支援を賜りましたセンター役員各位には、あらためてお礼申し上げます。

最後にセンター会員皆様のご健勝をお祈り申し上げ道北技術士協議会の近況報告とさせていただきます。なお、本協議会への連絡等については、センターHPからも本会宛へ送信可能となっております。

（文責：道北技術士協議会会長 菅原 敏明）